



第 33 号  
国立市北2-4-28  
能味寿哉 575-7110  
印刷(株)ジャパンサービス

# 国立白門会創立二十周年 記念行事を終えて

国立白門会会長 能味 寿哉



会員各位の多大なご協力、ご支援を頂いて昨年十一月二十九日、私も国立白門会の創立二十周年記念式典(功労者表彰とアトラクションを含む)、祝賀会、記念誌発行という三本柱を滞りなくすませることができました。

昨年春から私が故村田巨前会長の遺徳を偲び、かつ、二十周年の節目を皆さんとお祝したいとの願いは、幸い役員一同の共感を得られ、いわば挙党態勢でこの大きなテーマ

に取組むこととなりました。大小十数回に及ぶ打合せ会で白熱した意見のやりとりもありましたが、その努力結果の末、初冬の好天のもと、盛大に行事が営まれ、来客の皆さま方からもお誉めの言葉を頂戴いたしましたことは、私の生涯にとっても無上の光榮に存じております。

皆さん本当にありがとうございます。心から厚く感謝申し上げます。

さて国立白門会は、次なる二十五周年、三十年へと巡って行くわけですが、これまで母校の現状を直視してほしいと思います。学員会の本旨である母校への帰属意識を更に高めて物心両面の協力を惜しまないことが一つ、この不況下、先般学員会役員を中

心として行われた賛助金の募金は目標に近付きつつあるようですが、終身会員に至ってはまだまだ未納者も多い現実があります。私は先般の学員会幹事会で、最も支出額の多い学員時報の発行について、年千円位の有料化を提言しましたが、残念ですが大方の賛同は得られませんでした。

また日本の社会問題としてクローズアップされている少子化の現象は私大の存続統廃にかかわる由々しき関心事となっており、加えて過去にみられた私大の地方拡散の方向に見直されてきているとか、色々考慮すべき情報は絶えません。

しかし、私は八王子の広大な母校のキャンパスは、多摩都市モノレールの開通と共に無限の発展性を秘めた宝物になると確信しております。

私の俳句の恩師でもある故石原八束先生の句碑が、既にキャンパスの一部に建立されております。

「霜柱はがねのこゑをはなちけり」透徹した詩魂の持ち主でもあられた石原先生のこの一句は、私のみならず若い後輩諸君にも生きる勇気を与えてくれることでしょう。

輝かしい母校の未来に皆さんと一緒に乾杯!!

## 今年度の重点推進事項 幹事長 風間 健

会員の皆様には、ますますご健勝にて、ご活躍のこと、お慶び申し上げます。

国立白門会も昨年十一月に創立二十周年を迎え、記念式典を開催いたしました。記念誌の発行等の事業を盛大に終了することが出来ました。会員の皆様のご支援、ご協力に心から感謝を申し上げます。

創立二十周年の大きな節目を終えて、今後も国立白門会の発展を考えていかなければなりません。地域に密着した事業の展開、ボランティア事業への積極的な参加、中央大の特質を生かした事業の展開等々、会員の皆様のお知恵を是非ともお貸しいたゞきたいと思っております。

現在の主な事業は四月のさくらフェスティバル、十一月の、くにたち市民まつりのバザー出店、体育の日の、くにたちウォーキングへの参加、秋の旅行、ゴルフコンペ等々の行事を行っております。

これらの事業に加えて新しい事業の展開を期待して皆様のご意見をお待ちしております。新しい会員の増強等々、今後とも、国立白門会発展のためご協力お願い申し上げます。

## 青木 健氏 風間 健氏

市議会議員(三期目)当選  
おめでとうございます。  
ご活躍をお祈りいたします。



青木 健氏

この度は大変御世話になり誠に有難うございました。二十一世紀という新しい時代を目前にし益々厳しい市政運営が求められますが、自由民主党並びに野党全体の幹事長として頑張つてまいります。



風間 健氏

三期目の当選を果すことが出来ました。これもひとえに会員の皆様方のご支援があったればこそと厚く御礼を申し上げます。今後とも初心を忘れず市政発展に努力いたします。ご支援をお願いいたします。

# 20周年記念行事のスナップ

平成10年11月29日



中央大学学員会 国立白門会創立20周年記念式典 平成10年11月29日 くにたち芸術小ホール



ご来賓の  
水上虎馬雄  
常任理事と  
市橋千鶴子先生

晴れの壇上でご挨拶する能味会長

三遊亭竜楽師匠も  
お祝いに駆けつけてくれました



和やかな祝賀会  
右から  
川野辺章氏 (父母連絡会多摩支部長)  
市橋千鶴子氏 (学員会副会長)  
風間幹事長

会員の奥様方も  
接待役で大活躍



平成11年度国立白門会予算案

平成10年度 国立白門会決算書

自 平成11年 4月 1日  
至 平成12年 3月31日

自 平成10年 4月 1日  
至 平成11年 3月31日

科目	摘要	金額
収入	年会費 3000×100名	300,000
入	総会費 4000×30名	120,000
の	特別収入 バザー等	30,000
部	前年度繰越金	450,831
	合計	900,831
支出	会報費 白門会ニュース	50,000
の	総会費	150,000
部	交際費 他 他 他 他	150,000
	親睦行事費	50,000
	通信費 会員連絡他	70,000
	会議費 役員会他	30,000
	事務用品費	30,000
	雑費	50,000
	予備費	320,831
	合計	900,831

収入の部			支出の部		
科目	決算	予算	科目	決算	予算
年会費	174,000	300,000	会報費	38,850	100,000
総会費	84,000	120,000	総会費	124,412	180,000
寄付祝金	86,000	0	交際費	119,830	150,000
特別収入	52,845	30,000	親睦行事費	17,379	100,000
雑収入	398	0	通信費	53,405	70,000
前年度繰越金	667,869	667,869	会議費	21,900	30,000
			事務用品費	28,505	30,000
			雑費	10,000	50,000
			特別会計繰入	200,000	200,000
			予備費	0	207,869
			次年度繰越金	450,831	0
合計	1,065,112	1,117,869	合計	1,065,112	1,117,869

20周年記念事業特別会計収支報告

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会員寄付	1,066,000	記念式典費用	290,104
来賓祝金	175,000	記念誌費用	320,208
一般会計より	200,000	イベント費用	200,000
		祝賀会費用	349,165
		事務通信費他	201,523
		記念寄付金	80,000
合計	1,441,000	合計	1,441,000

◎剰余金80,000円を国立市社会福祉協議会へ寄付しました。

平成11年 5月10日

会計 高橋 雅幸 ㊟

会計監事 穴戸 勇之 ㊟

中央大学学術講演会

日時 11月13日(土)  
午後2時～4時  
場所 国立公民館  
講師 中央大学文学部教授  
鳥海 靖 先生  
演題 外から見た日本、内から見た世界  
歴史教科書の国際比較検討の会議  
から

平成11年度活動予定

- 厚生部
- \* 7月20日 納涼会(石川酒造見学会)
  - \* 10月10日 「くにたちウォーキング」参加
  - \* 日程未定 秋の一泊旅行
  - \* 1月30日 新年会
- 事業部
- \* 4月4日 「さくらフェスティバル」参加
  - \* 4月10日 中央大学多摩校舎観桜会
  - \* 6月13日 定時総会(プリンセスライラ)
  - \* 11月3日 「くにたち市民まつり」参加
  - \* 11月13日 中央大学学術講演会(公民館)
- 組織部
- \* 会員の増員
- 広報部
- \* 国立白門会ニュース33号の発行

平成10年度活動報告

- 厚生部
- \* 8月8日 納涼会(銀座ライオン国立店)
  - \* 10月10日 「くにたちウォーキング」参加
  - \* 1月31日 新年会(プリンセスライラ)
- 事業部
- \* 4月5日 「さくらフェスティバル」参加
  - \* 4月11日 中央大学多摩校舎観桜会(当番支部)
  - \* 6月7日 定時総会(プリンセスライラ)
  - \* 10月24日 三多摩支部連絡協議会総会(当番支部)
  - \* 11月3日 「くにたち市民まつり」参加
  - \* 11月29日 国立白門会20周年記念行事
- 組織部
- \* 20周年記念関連(功労者表彰等)
  - \* 会員の増強
- 広報部
- \* 国立白門会ニュース32号の発行
  - \* 20周年記念誌「はばたきⅡ」の発行